

競技注意事項および連絡事項

1. 競技規則について

本競技会は、2020 年度日本陸上競技連盟競技規則、本競技会開催要項及び申し合わせ事項に基づいて実施する。また、日本陸上競技連盟「競技会における広告及び展示物に関する規程」を適用する。

2. 来場について

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止策を十分に講じた上で来場すること。
- (2) 大会当日の開門は 6 時 45 分、閉門は 13 時 30 分とする。
※閉門時間に関わらず、競技終了後は速やかに撤収すること。
- (3) 競技会場の入退場口として、陸上自衛隊立川駐屯地立川口のみを利用する。また、参加校受付を同所に設置し、ID カード、アスリートビブス、プログラムを配付する。
- (4) 本連合が発行する ID カード（必要事項を記入したもの）を携帯している者に限り入場を許可する。
※事前申請者以外の来場は厳禁とする。申請者以外の ID カードの使用等、不正行為があった場合は、当該者が所属する大学の本大会への出場を認めない。
- (5) 参加校受付時間のみ入場することができる。また、再入場は不可とする。
- (6) 入場口の検温にて 37.0 度未満であることを確認し、アルコール消毒液で手指の消毒を行ってから競技会場に入ること。なお、37.0 度以上体温があるときには、再度時間をおいてから検温し、医師の問診を受けてから入場すること。
- (7) 競技会場において、競技者はウォームアップ中、競技中及び競技終了後しばらくの間を除き、必ずマスクを着用すること。競技者以外は常にマスクを着用すること。

3. 参加校受付について

参加校受付は、下記時間内に陸上自衛隊立川駐屯地・立川口受付テントで行う。

男子 06 時 45 分～07 時 30 分

女子 08 時 30 分～09 時 00 分

※ 参加校受付時間のみ入場することができる。

4. 体調管理チェックシートの提出について

- (1) チーム代表者が大会当日、**体調管理チェックシート（チーム提出用）**を参加校受付にて提出すること。提出がなかった大学は、競技会場への入場及び本大会への出場を認めない。
※ 1 名で参加の場合は、個人用の体調管理チェックシートを提出すること。
- (2) 事前に配布及び本連合 HP に掲載する体調管理チェックシート（個人用）は、2 月 28 日（日）以降 3 月 28 日（日）まで毎日記入することを来場者全員に義務付けるとともに、本連合が提出を求めた場合には、速やかに提出すること。

5. 各種配付について

- (1) ID カード、アスリートビブス、プログラムは参加校受付で当日配付する。
- (2) エントリー人数に応じて、ID カード（チームスタッフ用）をエントリー人数＋以下の枚数を必要に応じて追加して、配付する。

エントリー人数	1 名	2 名	3～4 名	5～9 名	10 名以上
配布枚数(上限)	1 枚	2 枚	3 枚	4 枚	5 枚

※新型コロナウイルス感染症拡大防止策の観点から、ID カード（チームスタッフ用）の配付枚数は 5 枚を上限とする。

※同一大学で男子と女子が本大会に出場する場合、別チームの扱いとして配付する。

※不出場者のアスリートビブス及び ID カードは、大会本部テントの返却口まで返却すること。その際、必要な場合は不出場届も持参すること。

- (3) プログラムの配付冊数は、エントリー人数に関わらず各大学 1 冊とする。

6. 大学待機場所・更衣室・トイレについて

- (1) 大学待機スペース内（別紙参照）は、各大学 1 張のみテントの設営を認める。場所の割り振りは行わないので、各校譲り合って使用すること。2 張以上の設営を希望する場合は事前に本連合へ申請すること。
- (2) 大学待機スペース内に男子更衣用テントを設置する。新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため、更衣テント内で滞留しないこと。
※ 更衣テント内に荷物を置いておくことはできない。更衣後は必ず大学待機スペースへ持ち帰ること。
- (3) 女子更衣室として体育館を開放する。利用する場合は、土足厳禁のため上履き及び下足袋を必ず持参すること。
※ 体育館内に荷物を置いておくことはできない。更衣後は必ず大学待機スペースへ持ち帰ること。
- (4) 競技会場内でミーティング等は禁止する。競技終了後は速やかに撤収すること。
- (5) トイレは競技会場に設置する仮設トイレを使用すること。ただし、女子は体育館のトイレを使用することができる。
- (6) 個人荷物やチーム荷物は、各自責任をもって管理すること。
- (7) ゴミは各自で持ち帰ること。

7. 練習について

大会会場での練習は、以下の時間、場所で行う。

	時 間	場 所
男子	07 時 30 分～09 時 00 分	陸上自衛隊立川駐屯地周回コース
女子	09 時 00 分～10 時 30 分	学生ハーフマラソン専用ウォーミングアップ会場（別紙参照）

※ 学生ハーフマラソン専用ウォーミングアップ会場(女子)では、安全確保のため、中央車線の左側を必ず走行し、十分に注意してウォーミングアップを行うこと。

8. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスの布地は白で数字の色は黒とする。
- (2) タイム計測は、アスリートビブ스에付帶したトランスポンダーで行う。
- (3) アスリートビブスは、配付された大きさのまま確実に取り付けること。
- (4) アスリートビブ스에付帶したトランスポンダーは、競技終了後フィニッシュ付近で競技役員が回収する。途中棄権する場合は近くの監察員に必ずトランスポンダーを返却すること。

9. 招集について

- (1) 競技者はスタート 20 分前までにスタート地点へ集合すること。なお、スタートエリアには 5 分前まで付添人の入場を認める。
- (2) 招集時刻に遅れた競技者は、その種目に棄権したものとみなす。
- (3) 競技規則 144 条 3. (b) (TR8. 3. 2)に記載の機器及び通信機器を有する機器を周回コース内に持ち込むことはできない。違反した場合は助力を受けたものとして警告・失格の対象となる。
- (4) 「競技会における広告および展示物に関する規程」の基準を超える商標についてはテープ等で隠すか、係員の指示に従うこと。

10. 不出場(棄権)について

やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、次の要領で「不出場届」を提出する。

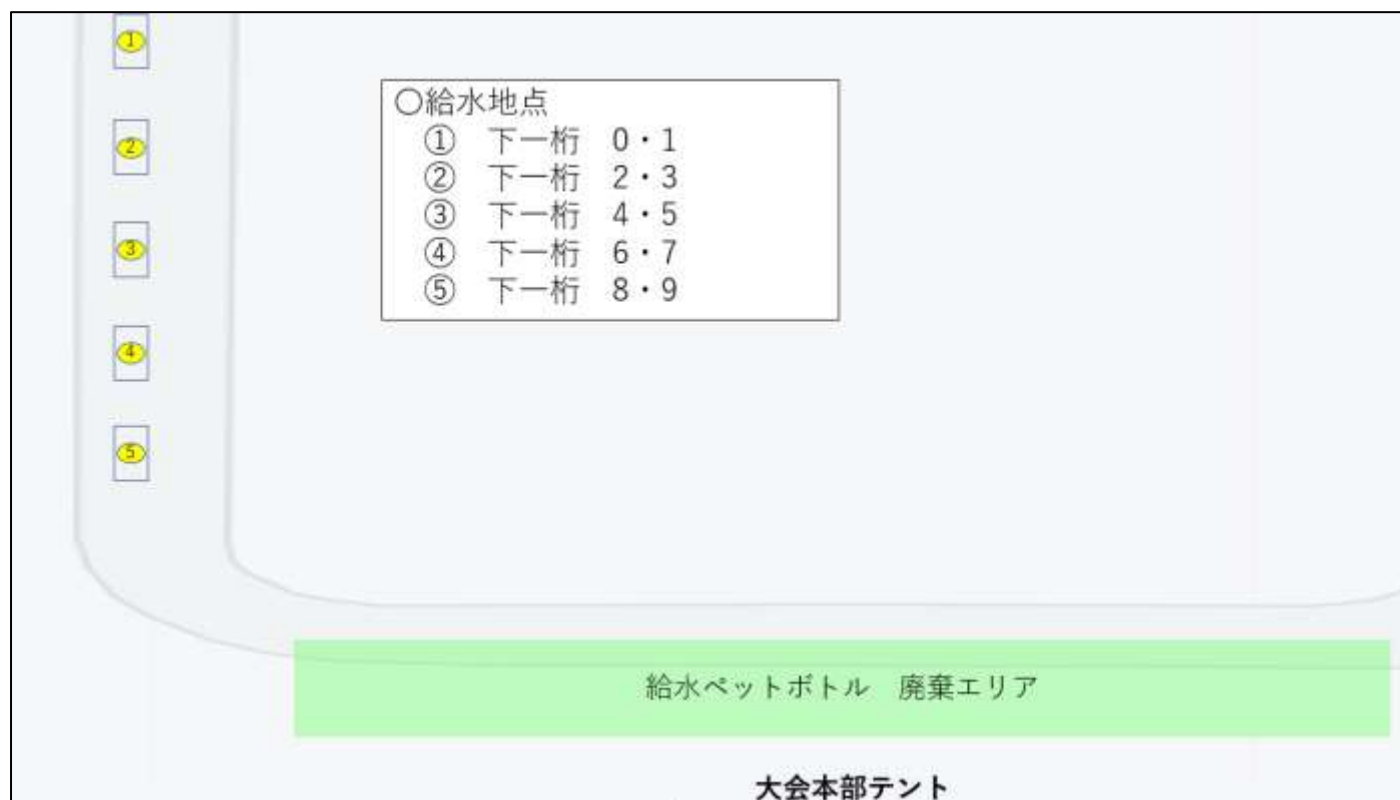
- (1) 3 月 13 日(土)までは、本連合 HP (<https://www.iuau.jp/>)に掲載してある「不出場届」に必要事項を記入し、FAX (03-5304-5569) で提出する。
- (2) 大会当日出場を辞退する場合は、「不出場届」を大会本部へ提出すること。同時にアスリートビブストランスポンダー付き)、ID カードを返却すること。
※ トランスポンダーを紛失した場合は、実費を請求する。

11. 用具について

靴底の厚さは 40 mm 以下とする。規定の厚さを超えるシューズは使用できない。競技者はウォーミングアップを開始する前にレースで使用する靴を大会本部テントに持参し、必ず検査を受けること。検査を受けていない場合は、スタート前あるいはフィニッシュ後に検査をする。

12. 競技について

- (1) スタート時はアスリートビブス順に 30 名ずつコース上に並ぶこと。前列からアスリートビブス順に内側から外側へ並ぶものとし、出発係の指示に従うこと。スタート 10 秒前までは前後の間隔を 2m 程度取って待機し、会話は控えること。
- (2) 給水テーブルを周回コース上 5 つ設置(下図)し、アスリートビブスの下一桁の番号により指定されたテーブルから給水ボトル(ミネラルウォーターのみ)を取り、なるべく指定された箇所にボトルを捨てること。



- (3) 男子ハーフマラソン競技中、女子競技者はコースに入ることとはできない。専用ウォーミングアップ会場からコースへは、競技役員の指示に従って移動すること。
- (4) 距離表示は、1km、5 km、10 km、15 km、20 km、あと 1 km の標識を設置する。
- (5) 競技終了後は必ずミックスゾーンを通過し、取材対象者はそこで取材を受けること。大学待機場所に戻らずにインタビュー等を受ける場合は関係者がミックスゾーンに衣服等を持ち込むことを許可する。また、表彰式終了後もインタビューを受けることがあるので協力すること。

13. 抗議と上訴について

- (1) 競技結果の正式発表時刻は本部前に掲示された時刻を基準とする。
- (2) 競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が掲示されてから、30 分以内にその競技者または代理人が大会本部に申し出る。その後、審判長に対して口頭で抗議を行う。
- (3) さらにこの裁定に不服の場合は預託金(1 万円)を添え、担当総務員を通して Jury に文書で申し出る。

14. 表彰について

- (1) 第 1 位から第 3 位までに入賞した競技者には、表彰式にてメダルのみを授与する。競技終了後、速やかに大会本部テント前の表彰対象者待機場所に集合すること。賞状は大会終了後に本連合から該当大学へ郵送する。

- (2) 表彰式の際の服装は上下とも大学公式ジャージを着用すること。
- (3) 第 4 位から第 8 位までに入賞した競技者には賞状を授与するが、競技会場においての授与は行わず、本連合から該当大学へ郵送する。
- (4) 表彰対象者は、マスクを着用して表彰式で表彰を受けること。

15. 車両について

- (1) 駐車証を発行しないので、競技会場付近の有料駐車場を利用すること。大型バスを利用する場合のみ、事前に本連合に申請することにより、昭和記念公園駐車場(有料)において、確保できるよう調整を行う。
- (2) 競技会場付近において荷物の搬出入のために車両を駐車及び停車することは厳禁とする。

16. ソーシャルメディアについて

第 24 回日本学生ハーフマラソン選手権大会及び第 24 回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会では下記のハッシュタグを設定している。

ソーシャルメディアの使用上の注意を遵守の上、使用すること。

大会ハッシュタグ		日本学連ハッシュタグ	公式 Twitter	公式 Instagram
#24 学生ハーフ	#24 学生女子ハーフ	#青春に駆けろ	@iuauj	@iuauj1928

17. その他

- (1) 競技注意事項及び連絡事項は変更となる可能性がある。変更となった場合は本連合 HP に掲載するので、各自確認のこと。
- (2) 記録証明書の発行を希望する場合は、本連合ホームページに掲載の「記録証明書の発行について」を確認のうえ、手続きをすること。
競技会場において記録証明書の受付・発行はしない。
- (3) 陸上自衛隊立川駐屯地内の自動販売機の利用は厳禁とする。
- (4) チームスタッフは、競技中に声を出して応援しないこと。競技者に指示を出したい場合には、チームスタッフがコーチングエリアに入り、指示を出すこと。
- (5) 大会期間中、貴重品の管理は各自で行うこと。盗難及び紛失に関して主催者は一切の責任を負わない。なお、大会期間中に主催者に届けられた物品等については大会本部にて保管する。大会終了後は主催者が 10 日間保管し、その後は処分する。
- (6) 競技中に発生した傷害及び疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、2020 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員はスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。必要な競技者は、大会本部においてスポーツ安全保険の事故報告書を受け取ること。
- (7) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技会場側の許可なく手配しない。
手配する場合は大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- (8) 競技会終了後、新型コロナウイルス感染症が発症したと疑われる場合は、医療機関へ連絡するとともに、本連合事務局（03-5304-5542）まで必ず連絡すること。

大会開催中、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として以下のことを遵守すること

- (1) 競技会前後 2 週間の健康観察(検温・体調チェック)を欠かさず行い、記録を残すこと。
- (2) 競技者はウォームアップ中、競技中及び競技終了後しばらくの間を除き、必ずマスクを着用すること。競技者以外は常にマスクを着用すること。
- (3) 必要に応じて、手指の消毒を行うこと。消毒剤を各自が携行し、常に手指の消毒ができるようにすることが望ましい。
- (4) 必要以上に密にならないよう注意すること。体育館及びテントの中では密閉された空間をなるべく作らず、十分に換気に努めること。
- (5) 飛沫感染防止を心掛け、応援は自粛すること。また、チームスタッフからの指示はコーチングエリアからのみ行うこと。
- (6) 体調不良があり、新型コロナウイルス感染が疑われる場合にはすぐに大会本部に連絡し、必要な措置を早急に講じること。
- (7) その他、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として行われることに対しては、必ず協力すること。